

2日目 4月22日

会 場: 県立浜山球場

第2試合		~2回戦~																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
出雲商業		0	0	0	2	1	1	0	0	4							8	15	7
大 東		0	0	2	2	0	0	0	0	0							4	6	4
(投手-捕手)																			
・ (出)		福原 - 高橋																	
・ (大)		稲田大 - 青木																	
(長 打)		(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (出)		福原												桑本					
・ (大)		稲田大																	
(審判) [球審]		大畑			〔一塁〕 福岡			〔二塁〕 富田			〔三塁〕 陶山								
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(出)	45	15	8	1	0	1	7	3	1	1		3		7	2	0	0	0	
(大)	40	6	1	1	0	0	5	3	3	1		0		4	0	0	0	0	

「出雲商業、桑本の本塁打で接戦制す！」

風が強かった中での試合だった。両者合計11失策と守りの荒れる中、両エースの好投で接戦になった。

大東は3回裏、死球と犠打、失策で2死1・3塁とし、3番稲田大のレフト線への適時2塁打で1点先制すると、相手の守りが乱れる間に1点を追加する。

出雲商業は直後の4回表に失策と連打で1死満塁とし、押し出し四球で1点を返すと、8番福原がスクイズを仕掛ける。スクイズが決まり、1塁ベースカバーがおらず、同点に追いつき尚も、1死満塁から9番小村真が連続でスクイズを仕掛けるが空振りし勝ち越しはできなかった。

すると4回裏に大東が、1死1・3塁とし、9番林がスクイズを仕掛けるもファールとなり、次の球もスクイズを仕掛け空振りしたものの、捕手が悪送球し2点を追加する。しかし、出雲商業も粘り強く5回に途中出場の江角、6回に矢田の適時打で同点に追いついた。

そのまま迎えた9回表、先頭の2番桑本がインコースの直球をライトスタンドへ運び本塁打で勝ち越しに成功すると、2死満塁と好機を作り、8番福原がセンターオーバーの適時2塁打を放ち3点追加し試合を決めた。大東は7回裏の走塁ミスで勝ち越しの好機を逃したのが痛かった。

